注１　送信周波数帯域端から10MHz未満を除く。
注２　815MHzから845MHzまでを除く。
注３　1,000MHz未満の周波数範囲で参照帯域幅が１MHzで規定されている技術基準の測定を行う場合であって、分解能帯域幅を１MHzにできないときは、次の㋐から㋒までを用いて判定する。ただし、815MHzから845MHzまでを除く。
㋐　９kHzから150kHzまでの範囲は、－33dBm／１kHzを用いる。
㋑　150kHzから30MHzまでの範囲は、－23dBm／10kHzを用いる。
㋒　30MHzから1,000MHzまでの範囲は、－13dBm／100kHzを用いる。
注４　860MHzから890MHzまでを除く。
注５　1,884.5MHzから1,915.7MHzまでを除く。

イ　ビデオ帯域幅、掃引時間、Ｙ軸スケール、入力レベル、データ点数、掃引モード及び検波モードは、五の項の２に同じ。

⑷　不要発射振幅測定時のスペクトル分析器は、次のように設定する。

ア　中心周波数、掃引周波数幅、ビデオ帯域幅、Ｙ軸スケール、入力レベル、掃引モード及び検波モードは、五の項の２に同じ。

イ　分解能帯域幅は次表のとおり

試験周波数帯	測定周波数範囲	分解能帯域幅
700MHz帯	９kHz以上150kHz未満	１kHz
	150kHz以上30MHz未満	10kHz
	30MHz以上1,000MHz未満	100kHz
	1,000MHz以上12.75GHz未満	１MHz
800MHz帯（注２）	９kHz以上150kHz未満	１kHz
	150kHz以上30MHz未満	10kHz
	30MHz以上1,000MHz未満（注１）	100kHz
	815MHzを超え845MHz以下	100kHz
	1,000MHz以上12.75GHz未満	１MHz
900MHz帯	９kHz以上150kHz未満	１kHz
	150kHz以上30MHz未満	10kHz
	30MHz以上1,000MHz未満（注３）	100kHz
	860MHz以上890MHz以下	１MHz
	1,000MHz以上12.75GHz未満	１MHz
1.5GHz帯、1.7GHz帯及び２GHz帯	９kHz以上150kHz未満	１kHz
	150kHz以上30MHz未満	10kHz
	30MHz以上1,000MHz未満	100kHz
	1,000MHz以上12.75GHz未満（注４）	１MHz
	1,884.5MHz以上1,915.7MHz以下	300kHz

注１　815MHzを超え845MHz以下を除く。
注２　1,000MHz未満の周波数範囲で参照帯域幅が１MHzで規定されている技術基準の測定を行う場合であって、分解能帯域幅を１MHzにできないときは、次の㋐から㋒までを用いて判定する。ただし、815MHzを超え845MHz以下を除く。
㋐　９kHzから150kHzまでの範囲は、－33dBm／１kHzを用いる。
㋑　150kHzから30MHzまでの範囲は、－23dBm／10kHzを用いる。
㋒　30MHzから1,000MHzまでの範囲は、－13dBm／100kHzを用いる。
注３　860MHz以上890MHz以下を除く。
注４　1,884.5MHz以上1,915.7MHz以下を除く。

３　試験機器の状態
五の項の３に同じ。

４　測定操作手順
五の項の４に同じ。

５　試験結果の記載方法

⑴　結果は、上記で測定した不要発射の振幅値を技術基準で定められた単位を用いて、各帯域幅当たりの絶対値で周波数とともに記載する。

９kHz以上150kHz未満　：dBm／１kHz
150kHz以上30MHz未満　：dBm／10kHz
30MHz以上1,000MHz未満　：dBm／100kHz
1,000MHz未満（注１）　：dBm／１MHz
815MHzを超え845MHz以下　：dBm／100kHz
860MHz以上890MHz以下　：dBm／１MHz
1,000MHz以上12,75GHz未満（注２）　：dBm／１MHz
1,884.5MHz以上1,915.7MHz以下　：dBm／300kHz

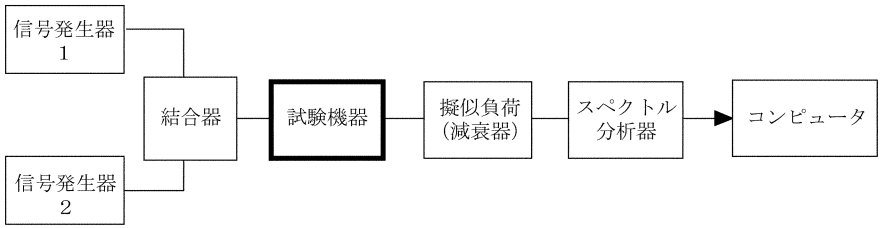
注１　800MHz帯（815MHzを超え845MHz以下又は860MHz以上890MHz以下は除く。）に限り、1,000MHz未満の周波数範囲で参照帯域幅が１MHzで規定されている技術基準の測定を行う場合。
注２　1,884.5MHz以上1,915.7MHz以下を除く。

⑵　結果を複数記載する場合は、許容値の帯域ごとにレベルの降順に並べ周波数とともに記載する。

６　その他の条件
五の項の６に同じ。

七　隣接チャネル漏えい電力（下り）

１　測定系統図



２　測定器の条件等

⑴　信号発生器１及び２の設定は、五の項の２⑵と同様にする。

⑵　3.84MHz帯域幅当たりの漏えい電力測定時のスペクトル分析器は、次のように設定する。

ア　中心周波数　測定操作手順に示す周波数
イ　掃引周波数幅　搬送波電力測定時：送信周波数帯域幅
　　隣接チャネル漏えい電力測定時：５MHz
ウ　分解能帯域幅　30kHz
エ　ビデオ帯域幅　100kHz
オ　Ｙ軸スケール　10dB／Div